

人を豊かに、地球を美しく

松田産業株式会社 会社説明会



松田産業株式会社 (証券コード：7456)

2025年2月25日





本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を負うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

＜お問い合わせ先＞

松田産業株式会社
CSR・IR部

お問い合わせフォーム：<https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

1.	会社概要 企業理念・Our Origin・沿革・成長軌跡	P. 4
2.	事業概要	P. 9
3.	業績推移	P. 21
4.	中期目標・投資計画	P. 25
5.	財務戦略・株主還元	P. 29

1. 会社概要

企業理念

限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献する

貴金属関連事業

貴金属などの資源リサイクルで
循環型社会の構築に貢献



食品関連事業

安全安心な食材の安定提供で
人の豊かさに貢献



持続的成長
サイクル

事業機会
拡大

社会課題
解決に貢献

貢献できるSDGs



松田産業のはじまり（philosophy）

もったいない精神



チャレンジ精神

1935

写真感光材料



もったいない精神
チャレンジ精神

銀地金



資源の有効活用

貴金属関連事業の創業

1948

マヨネーズ工場の卵白



もったいない精神
チャレンジ精神

練り製品の「つなぎ」



資源の有効活用

食品関連事業の創業

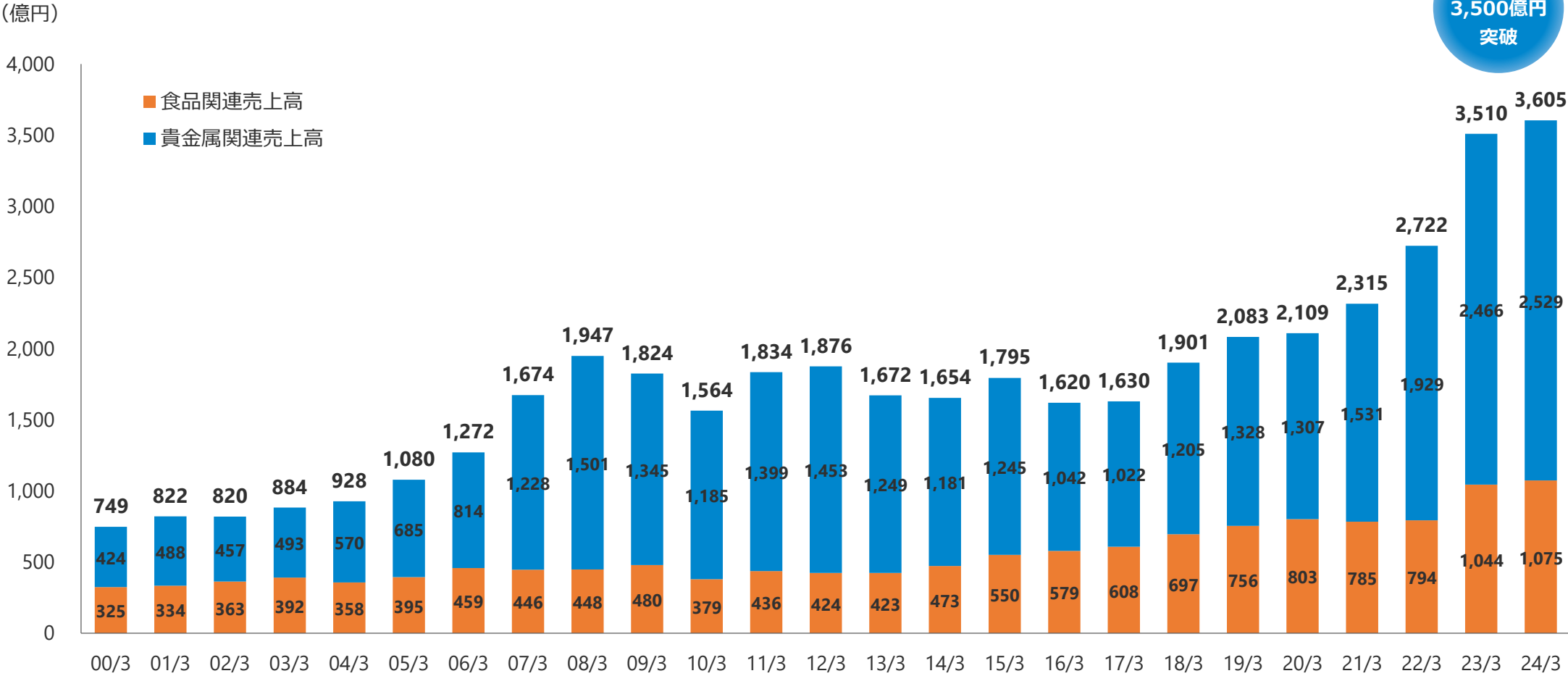


売上高
351,028百万円

社会の変化とともに、持続可能な成長軌道を実現

24年3月期では過去最高の売上高を更新

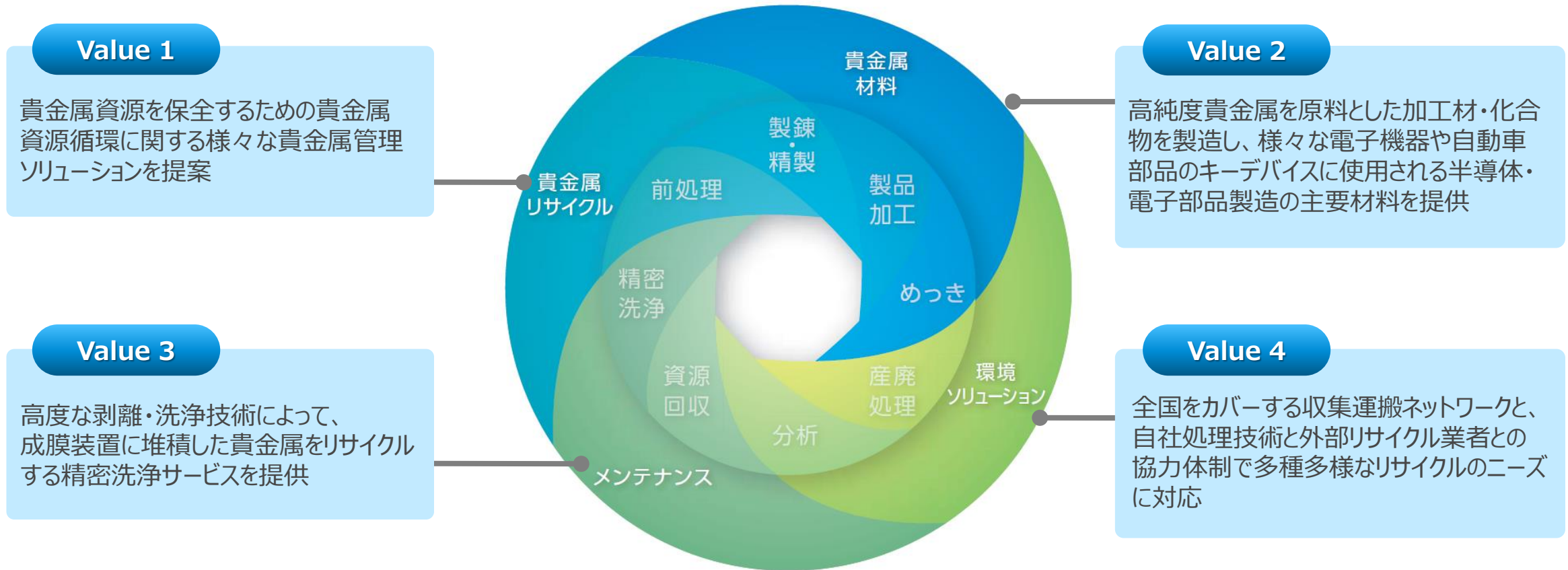
売上高
3,500億円
突破



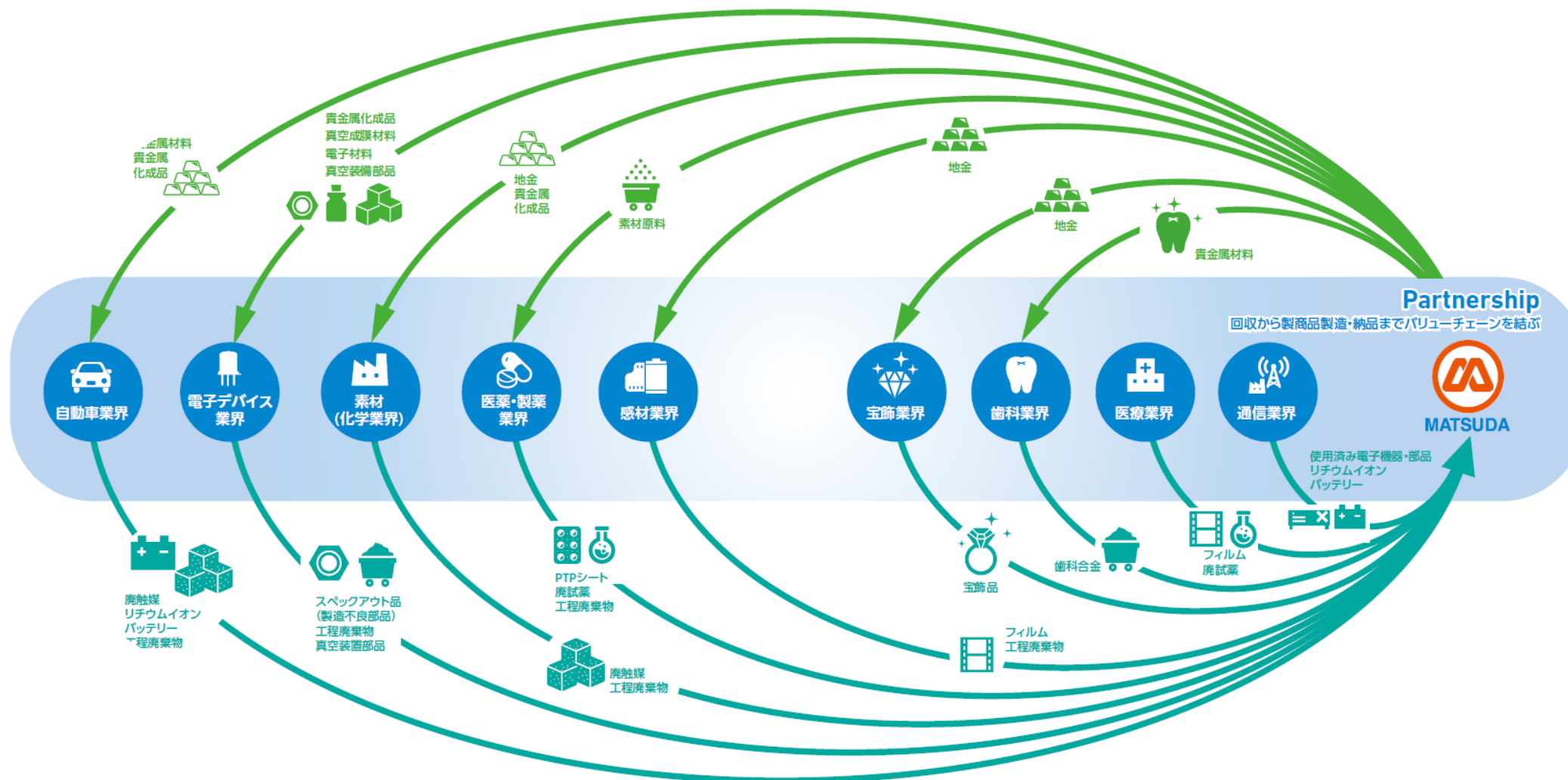
2. 事業概要

資源リサイクルの総合力で「高い環境価値」を提供

貴金属の製錬・精製、製品調達から環境管理までループビジネスで資源循環をトータルサポート



循環経済を支えるため、「リサイクルテクノロジー」と「グリーンテクノロジー」でライフサイクルをマネジメントしています。



顧客ニーズ

サーキュラエコノミー

リサイクル資源の活用

高品質・高効率・
安全供給

環境保全
(サステナビリティ)

資源リサイクルの 総合力と環境価値

環境負荷低減/
製品・サービスの提供

高機能電子材料/
開発・販売の強化

リサイクル技術の応用/
物流ネットワーク機能/
無害化処理技術/スキーム作り

技術開発/生産インフラ拡充/
品質管理体制の強化

シェア拡大 新規市場開拓 (国内・海外)

電子デバイス業界

化学/自動車業界

二次電池

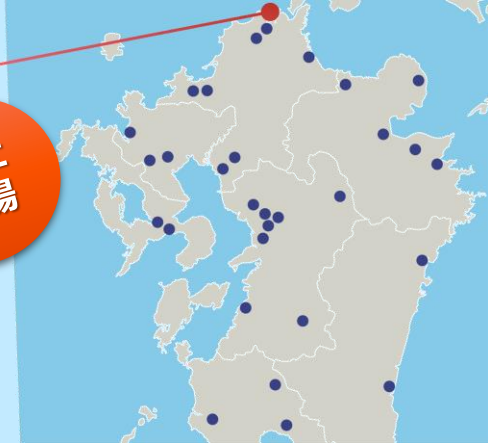
E-スクラップ市場

資源循環（活用）を
創造する
リーディングカンパニー

機会を捉えた積極的な投資

8カ国/地域 13拠点

北九州新工場稼働開始
(2024年4月)



当社
工場

タイ工場リニューアル



タイ営業所 (ピントン)
2017 年設立
(営業所はバンコクの東側を
カバー、洪水などの災害時対応も
可能)

タイ現地法人 (アユタヤ)
2000 年設立
2003 年工場稼働

シンガポール現地法人
2005 年設立
(支店は 1992 年)

マレーシア現地法人
2009 年設立
2012 年工場稼働

韓国現地法人 (ソウル)
2021 年設立

北九州工場
2024 年稼働

フィリピン現地法人
2004 年設立
(2014 年新たに事業所取得)

貴金属原料の集荷

ベトナム現地法人 (フンエン省)
2014 年設立
(2016 年新工場稼働)

台湾現地法人
2019 年設立 (海外 4 番目の
新工場が稼働)
(支店は 2011 年)

北海道子会社の活用



Clean & Recycling

北海道アオキ化学株式会社

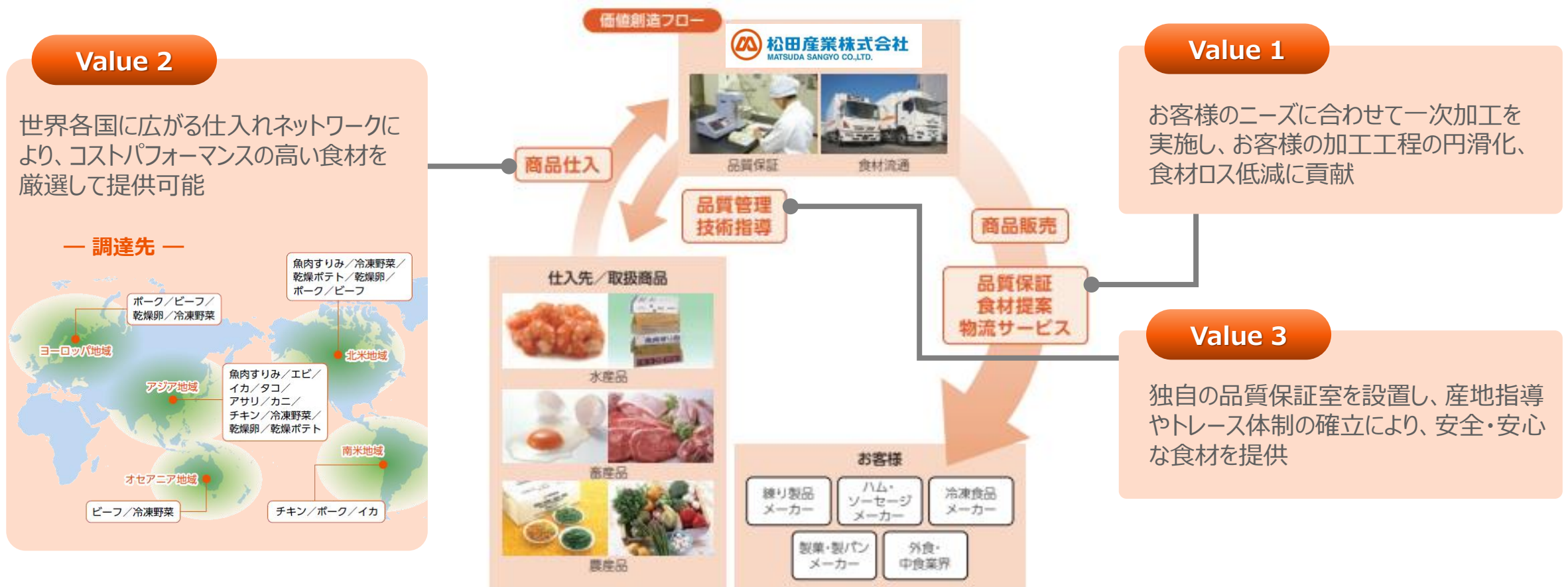
入間・武蔵工場

関工場
2017 年稼働

入間工場リニューアル

お客様の商品開発のベストパートナー

お客様のニーズにお応えし、徹底した品質管理のもと、世界各国の産地から安全安心な原材料を安定提供



水産品



すりみ



エビ



魚



貝



イカ



タコ

農産品



野菜・果物



大豆たんぱく



食品素材

畜産品



牛肉・豚肉・鶏肉



鶏卵

グローバルなネットワークにより変化する業界のニーズに対応した食材を調達

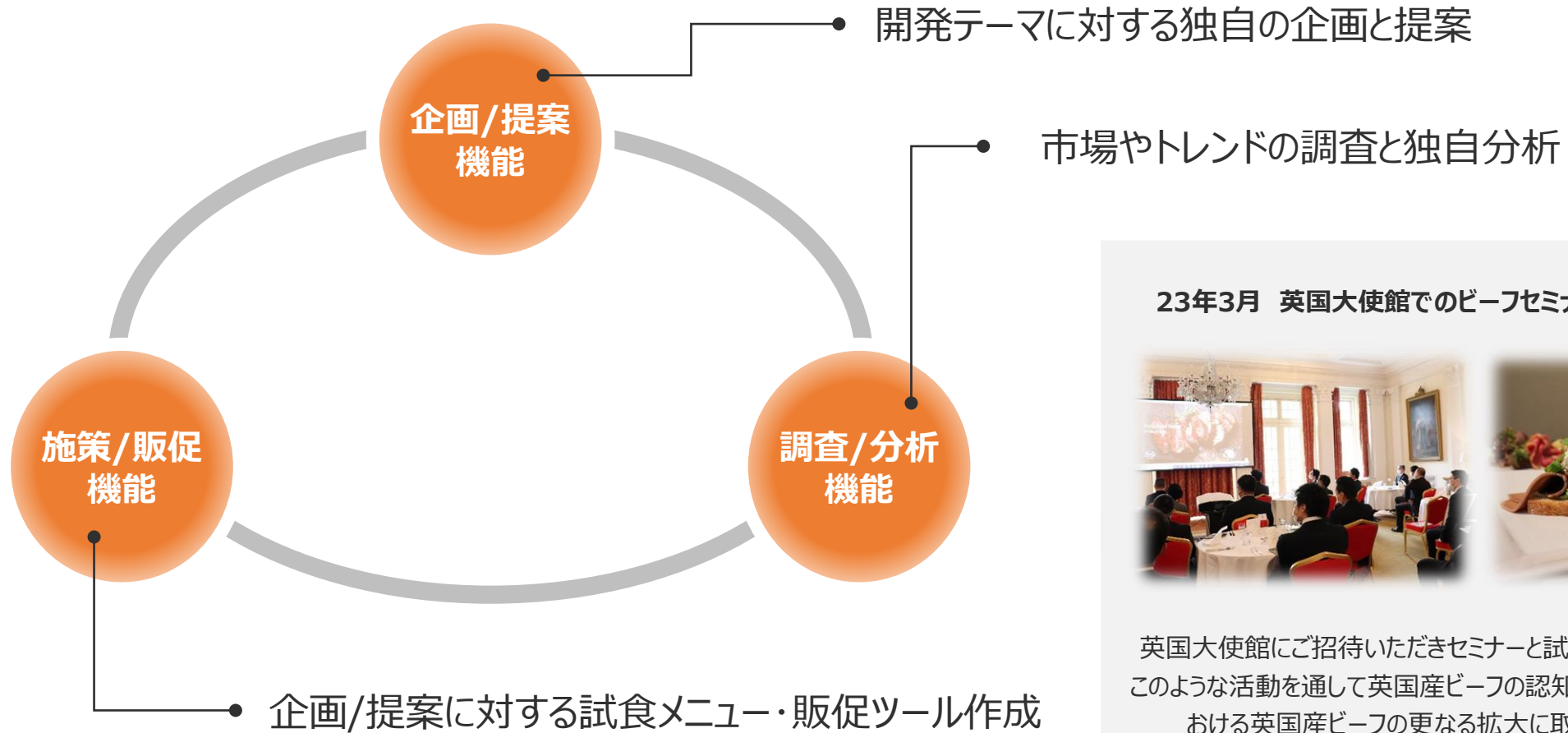


全国各地に広がる拠点ネットワーク

国内10カ所の営業拠点でお客様に密着した提案型の営業活動を行い、お客様のニーズにきめ細やかに対応いたします



独自の市場分析やメニュー開発により、お客様のニーズにそった商品・メニューを企画・提案

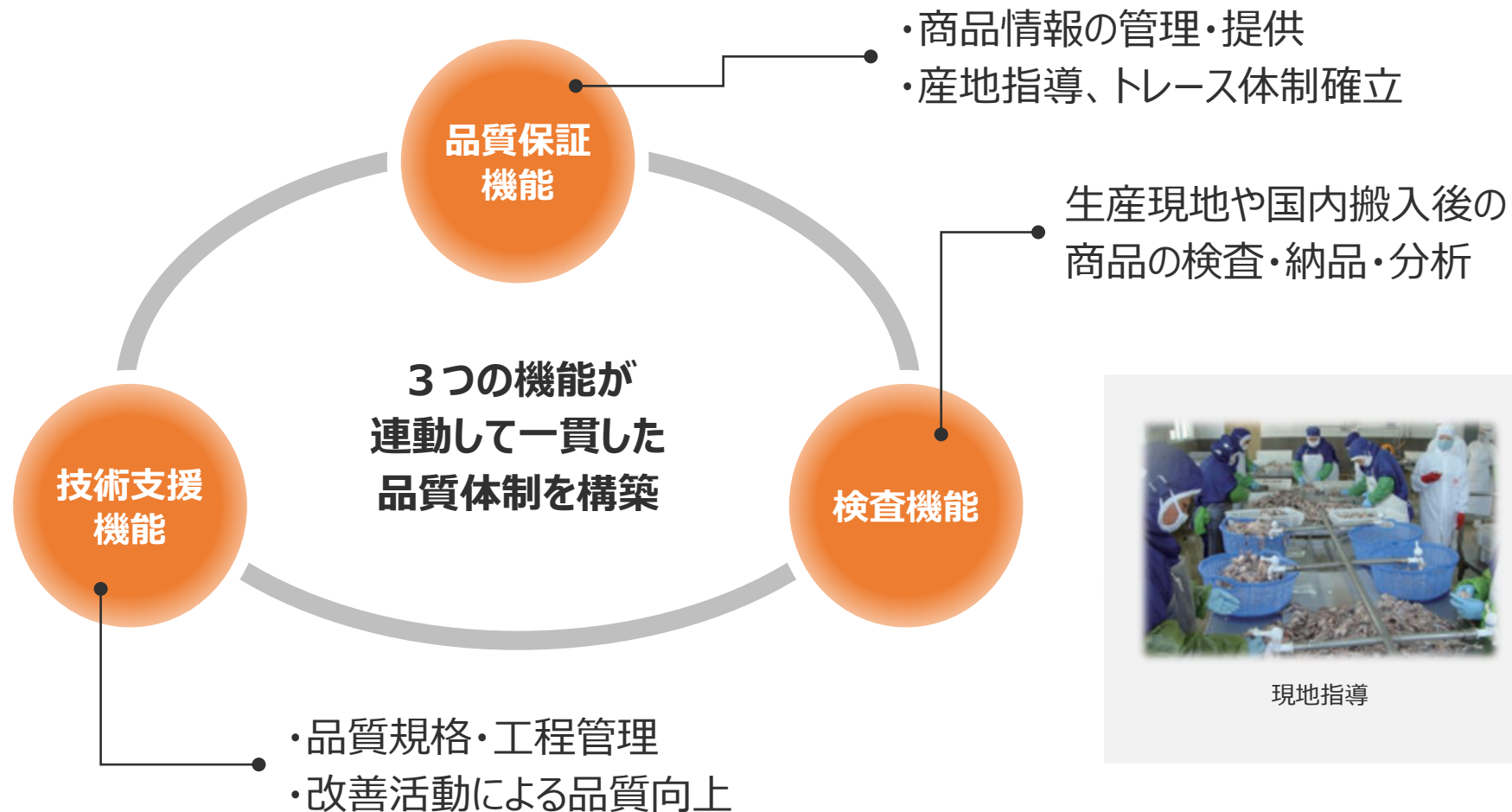


23年3月 英国大使館でのビーフセミナー・試食会の様子



英国大使館にご招待いただきセミナーと試食会を実施しました。
このような活動を通して英国産ビーフの認知度向上と日本市場に
おける英国産ビーフの更なる拡大に取り組んでいます。

お客様の求める品質の維持・向上と安全安心な商品の提供に取り組んでいます



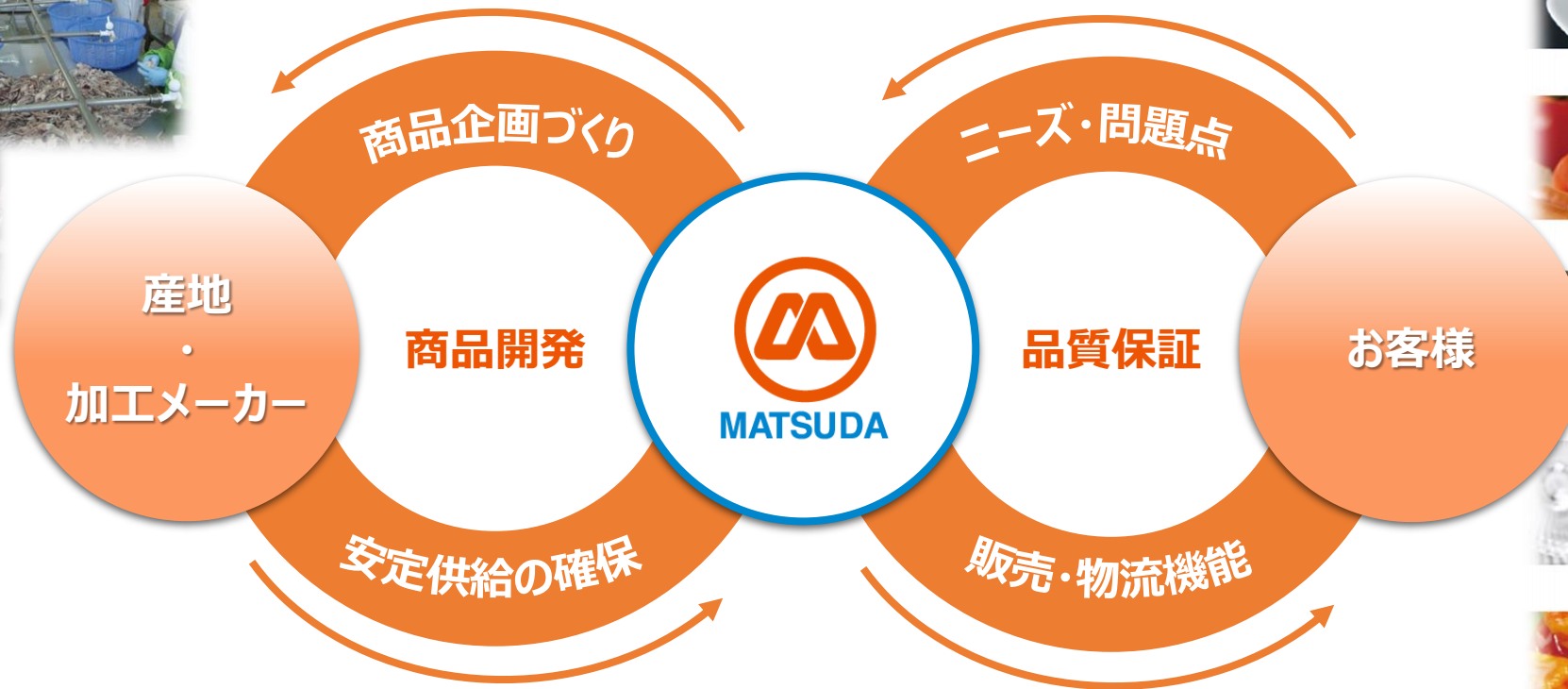
現地指導



品質保証室のサンプリング検査

「安全安心な食材の安定供給」と「食資源の有効活用」の実現

お客様の商品開発や調達コストの低減、生産オペレーションの改善に寄与する提案にも取り組んでいます。



練り製品メーカー



ハム・ソーセージメーカー



冷凍食品メーカー



製菓・製パンメーカー



外食・中食業界

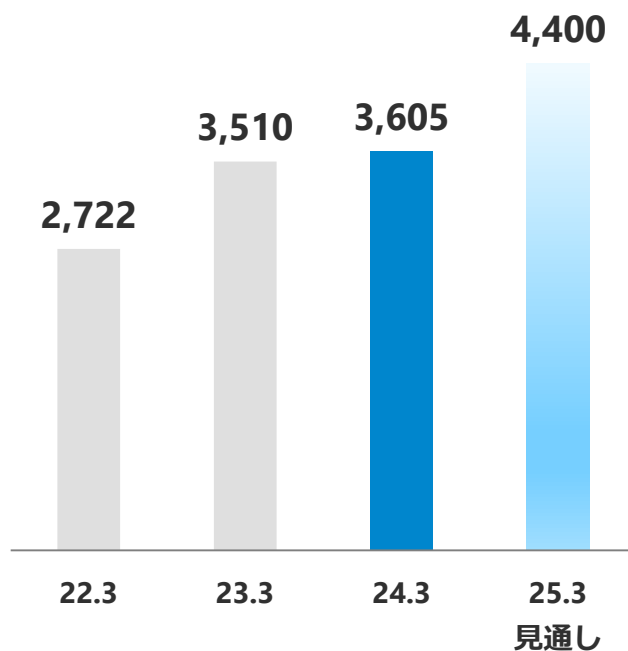


3. 業績推移

○ 連結業績の推移

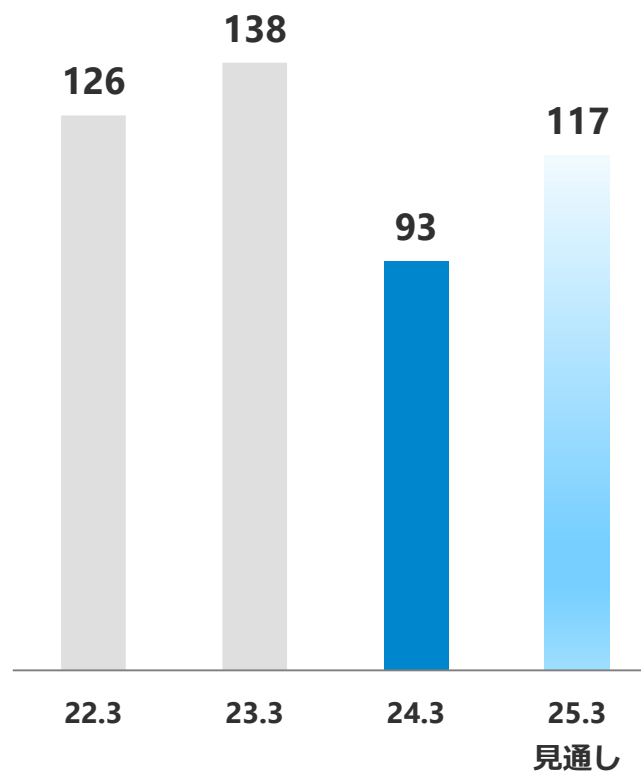
売上高

(億円)



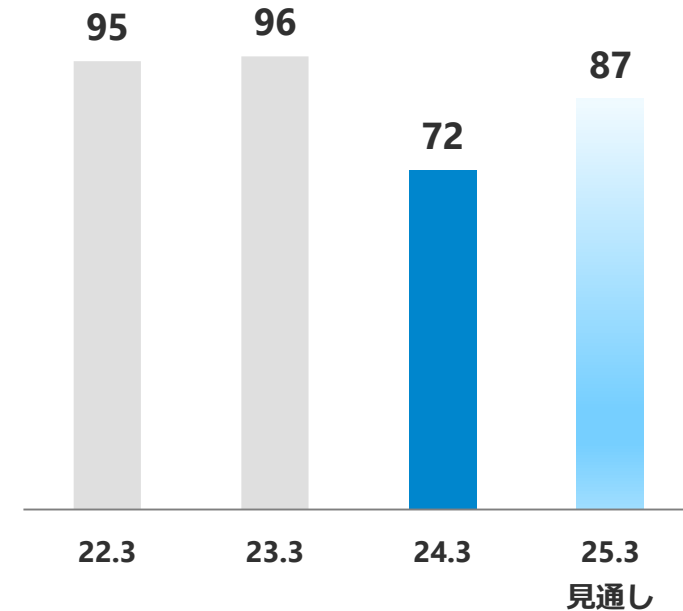
営業利益

(億円)



当期純利益

(億円)



○ 連結貸借対照表

【資産の部】		(億円)	
	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
流動資産	860	893	1,023
固定資産	297	398	466
資産合計	1,157	1,292	1,489
【負債の部】			
	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
流動負債	335	278	445
固定負債	77	166	130
うち有利子負債	163	192	294
負債合計	413	445	575
【純資産の部】			
	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
純資産合計	744	846	913
負債純資産合計	1,157	1,292	1,489
自己資本比率	64.2%	65.4%	61.2%

(億円)

	22年3月期	2023年3月期	2024年3月期
営業キャッシュ・フロー	70	106	18
投資キャッシュ・フロー	▲25	▲121	▲79
フリー・キャッシュ・フロー	45	▲15	▲61
財務キャッシュ・フロー	▲22	13	80
現金及び現金同等物の増減	25	3	26
現金及び現金同等物の期末残高	113	117	144

4. 中期目標と投資計画

○ 中期経営計画（2022-2025年度）の目標

経営目標の達成に向けては、貴金属セグメントの量的拡大、利益率・資本効率の改善が課題

	FY16-18 平均	FY19-21 平均	FY22 実績	FY23 実績	FY24 予想	FY25 目標
売上高	1,871	2,382	3,510	3,605	4,400	3,000
営業利益	42	90	138	93	117	130
営業利益率	2.2%	3.7%	3.9%	2.6%	2.7%	4.3%
ROE	5.6%	10.0%	12.2%	8.3%	9.0%	9.0%
ROA (総資産経常利益率)	6.0%	9.4%	11.3%	7.6%	-	10.0%

(億円)

基本方針

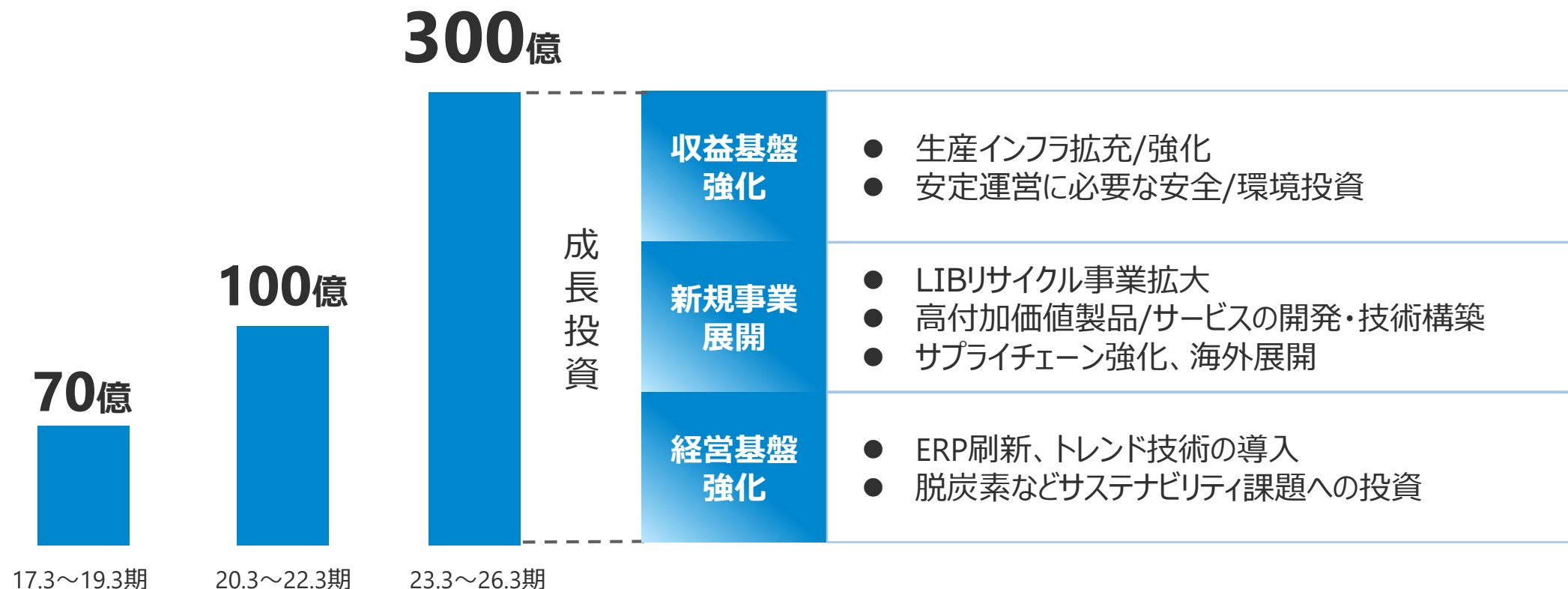
貴金属関連事業 & 食品関連事業の両事業を成長の牽引役とし…

- 積極投資の継続で収益基盤強化と新規収益源の創出
- 持続的成長を支え、加速させる経営基盤の強化
- サステナビリティ経営の推進で企業価値向上

投資計画（2022-2025年度）

総額 **300 億**
(4力年累計)

- 収益基盤強化・新規事業展開・経営基盤強化の各領域に積極投資し、更なる成長実現へ
- 成長投資は、財務健全性の確保とび株主還元のバランスを考慮し、経営資源を適確に配分



5. 財務戦略・株主還元

成長性を捉えた事業機会への最適資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させる

成長投資と営業C/Fの確保

- ・ 収益基盤強化、新規事業展開、経営基盤強化に向け成長投資を積極的に実施
- ・ 財務健全性及び株主還元のバランスを考慮し、経営資源を適確に配分

事業機会
(成長投資)

自己資本比率の維持

- ・ 自己資本比率60%超を維持

財務健全性

持続的な
企業価値向上

安定かつ持続的な配当

- ・ 株主資本配当率(DOE)1.5%以上を目安にした還元

株主還元

方針

PBR改善に繋がる資本収益性の向上に向けて、中期経営計画の着実な推進で経営目標の達成を目指すとともに、「資本効率の向上」と「成長期待の醸成」を重要課題として、施策の実行に取り組む

中期経営計画（2022～2025年度）

（2025年度目標）

売上高
3,000億円

営業利益
130億円

営業利益率
4.3%

ROE
9.0%

ROA
10.0%

<基本方針>

貴金属関連事業 & 食品関連事業の両事業を成長の牽引役とし...

- 積極投資の継続で収益基盤強化と新規収益源の創出
- 持続的成長を支え、加速させる経営基盤の強化
- ESG経営の推進で企業価値向上

貴金属関連事業

資源循環(活用)を創造する
リーディングカンパニー

食品関連事業

お客様の商品開発の
ベストパートナー

経営基盤強化

（重要課題と施策）

資本効率 の向上

ROIC経営の推進

ROICを指標とした経営管理を今後導入し、各事業の資本効率向上を目指す

資本政策の的確な実行

財務健全性の確保を考慮しつつ、将来の資本収益性向上に繋がる事業投資と、株主還元の充実にに向けた政策を実行する

成長期待 の醸成

IR活動の強化

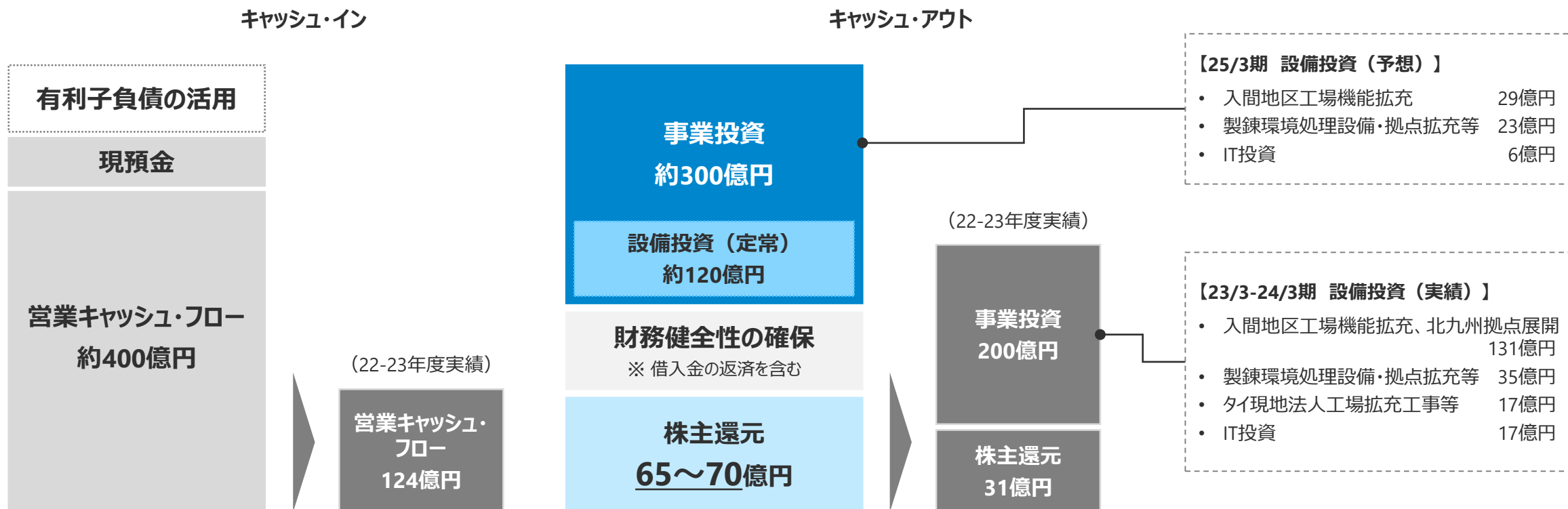
投資家・株主に向けて、持続的成長のシナリオや競争優位性、サステナビリティ課題への取り組みなどを分かりやすく伝え、対話し、意見を経営に活かす

重要課題	施策	進捗
資本効率の向上	ROIC経営の推進 ROICを指標とした経営管理を今後導入し、各事業の資本効率向上を目指す	- セグメント別投下資本の明確化を推進 - 各事業のバリュードライバーを特定中 - 食品事業ではPSI管理強化による在庫回転率の向上を図る
	資本政策の的確な実行 財務健全性の確保を考慮しつつ、将来の資本収益性向上に繋がる事業投資と、株主還元の充実にに向けた政策を実行する	次ページのキャッシュ・アロケーション想定の下、2022-2025年度の前半期間が終了 【営業CF】 124／400億円 【事業投資】 200／300億円 【株主還元】 31／60-65億円 ※ 2022-2023年度累計
成長期待の醸成	IR活動の強化 投資家・株主に向けて、持続的成長のシナリオや競争優位性、サステナビリティ課題への取り組みなどを分かりやすく伝え、対話し、意見を経営に活かす	- 決算補足説明資料と英文開示を拡充 - 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた現状と課題について取締役会で議論 - 新たな対話機会として、スモールミーティングを2024年度内に実施予定

資本政策 (基本方針)

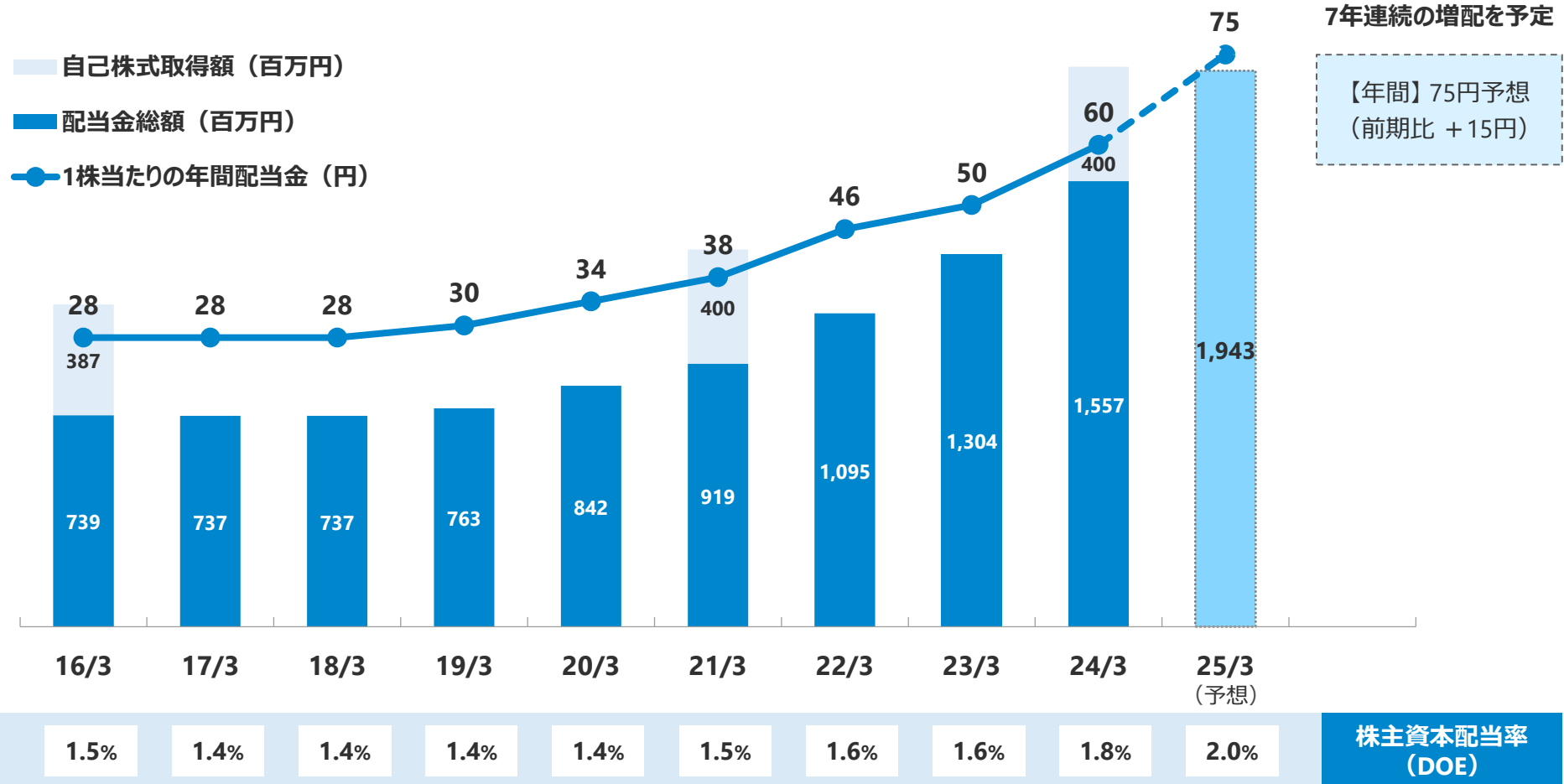
成長性を捉えた事業機会への最適資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させる

<中期経営計画（2022～2025年度累計）に基づく、キャッシュ・アロケーションの想定>



株主還元

- 成長投資の為の内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定且つ持続的な配当を実施
- 株主資本配当率1.5%以上を目安とした還元
- 市場環境を勘案した機動的な自己株式取得



QUOカード

- 毎年3月31日現在、当社株式を1単位(100株)以上かつ1年以上継続して保有する国内在住の株主様に、一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈。
(1年以上継続保有の株主様とは、同じ株主番号で3月31日および9月30日現在の株主名簿に3回以上連続で記載または記録された株主様をいいます。)
- 毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬に発送予定。



カレンダー

- 3月末の株主様を対象にご希望をお伺いし、ご希望された株主様に「カレンダー」を贈呈。
- 毎年1回、12月初旬頃に発送予定。





松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.